

国語

世界一美しいぼくの村

竹園東小学校 4年3組
授業者 岸 ゆう子

本時の目標

全文を通読して感想を発表し、学習の見通しをもつことができる。

■ 単元の目標

- 人物の気持ちや場面の様子に注意して、物語の出来事の流れを読み取る。
- 愛の心を描いた本を読み、読書会を開いて、感じたことや考えたことを伝え合う。

■ I C T 活用の視点

○ 確かな学力をはぐくむために

デジタルペンを使って授業を展開していく。資料を視覚的に目で追いかながら、自分が一番心に残ったところを考えさせ、それをクラス全体で共通理解し、友だちの意見や考えに共感したり、違う考えを抱いたりするのに有効活用する。

○ 学び合い高め合える意見交流活動をするために

感想発表時に電子黒板、デジタルペンを活用して、提示し発表することで、自分の考えを友だちに正確に伝えることができる。また、感想シートに書いた感想と資料を照らし合わせながら見せることで、友だちの考えがイメージしやすく、その感想について意見交流活動が活発に行える。

○ 情報保障のために

本学級には、難聴学級の児童が2名いる。そのために、教育補助員がノート型コンピュータ、コンピュータ要約筆記ソフト（IPtalk）を活用し、同時通訳を行う。

■ 本時の授業の概要

この物語は、アフガニスタンという児童があまり聞いたことのない国のお話である。ヤモという男の子が戦争を行ってしまっている兄にかわって自分のところでとれたすももやさくらんぼを父親と町へ売りに行き、様々な人と触れ合い、改めて自分の育った村がすばらしいと感じることが書かれている。

本時の授業では、初めてみんなで通読して感じたことを感想に書き、デジタルペンを使って、みんなの前で自分の考えを発表する学習を展開していく。

学習活動	指導上の留意点
1.絵を見て物語の内容を想像する。	資料を見て、物語の内容を自由に想像させて意欲化を図る。 原本の資料も提示する。 難聴学級の児童には、教育補助員により、ノート型コンピュータを活用し同時に通訳を行う。
2.全文を音読する。	
物語を読んで、感想を発表しよう。	一行読みをできるようにする。 みんなに聞こえるぐらいの声で気持ちをこめて読むようにする。
3.感想を書いて発表し合う。	自分の思いを感想に書く。 発表するときは、感想シート、デジタルペン、電子黒板を使ってみんなに発表していく。 デジタルペンで書いた全員の考えを、電子黒板に映し出し、比較できるようになる。 物語のどの場面が心に残ったのか友だちと比較しながら感想を発表したり聞いたりする。
4.単元の学習の見通しをもつ。	「てびき」をもとに、愛の心を描いた本を読み広げ、読書会を、読書会を開くという学習の見通しをもつ。 既習教材や、これまでの読書経験を想起させ、さまざまな愛の心があることを感じ取れるようにする。 ○発表をしたり聞いたりすることで学習の見通しをもつことができたか。